

第4節 子育て支援サービスに関する情報提供の充実

◆ポイント

- ☆ 子育て支援サービスに関する情報を必要とする家庭にわかりやすく提供します。
- ☆ どんな子育て支援サービスがあるのかわかります。
- ☆ いろいろな子育て支援サービスの中から、自分が受けたいサービスを選ぶことができます。
- ☆ 子育てに関する情報をいつでも気軽に得られ、安心することができます。

◆トピック

「子育てのタネ」は子育て中の方を応援する情報提供サイトです

<http://www.pref.oita.jp/12450/kosodatenotane/index.html>

(内容)

- 子育て関連施設－保育所、幼稚園、児童館等の施設情報を紹介します。
- 制度・サービス－分野別、ライフステージ別、場面別に子育て支援のサービスを紹介します。
- 相談窓口－ひとりで悩んでいませんか・・・話をするだけでも心がやすまります。
- 市町村情報－お住まいの市町村の子育て情報サイトを紹介します。
- 子育てお役立ちリンク－子育てのヒントになるホームページをご紹介します。
- 子育て支援の現場最前線！－県内の子育て支援センター、児童館などを、利用者の視点で紹介しています。

※広報啓発資料もこのサイトで見るができます！



親子のコミュニケーションについてマンガで読める「子育てコミュニケーション本」
県内在住・子育て奮闘中の漫画家による2本立て！
その他、子育て情報もあります。



世界の子育て事情などをマンガも交えて楽しく紹介している情報誌です。
世界の子育てを知れば、明日からの子育てがもっとハッピーに！



子育てに頑張っているあなたにおくる子育て情報誌「あかぼん」です。
気軽に子育ての相談ができるところや子育てに役立つ情報をマンガも交えてわかりやすく紹介しています。



妻の妊娠から乳幼児期くらいまでの時期にある父親のための情報誌です。
子どもの成長の記録を記入する欄もあり、母子手帳ならぬ「父子手帳」ともいえるものです。

◆みなさんの声

○具体的な取組

- ① 必要な子育て支援サービスを利用、選択しやすいように、「大分県子育て支援情報ホームページ『子育てのタネ』」に情報を集約し、さまざまな情報をわかりやすく提供します。
- ② 子育て支援に関する行政情報や、先進的な取組事例等を「大分県次世代育成支援のページ」などを活用して提供します。
- ③ 行政情報に接する機会の少ない子育て世代の方に対しても、病院やコンビニの場の活用やメディアを利用するなど、情報発信方法等の創意工夫に努めます。
- ④ 「おおいたNPO情報バンク（おんぼ）」に掲載するNPO・ボランティアなどに関する情報を整理・充実し、子育てに関わる団体情報やお知らせが県民に届くよう努めます。
- ⑤ 住民に身近な市町村における、きめ細かな子育て支援情報の提供を促進します。

*** 数値目標 ***

項目	単位	20年度末現状値	26年度末目標値
ホームページ「子育てのタネ」へのアクセス件数	件	17,874件	70,000件

第5節 子育て支援のネットワークづくり

◆ポイント

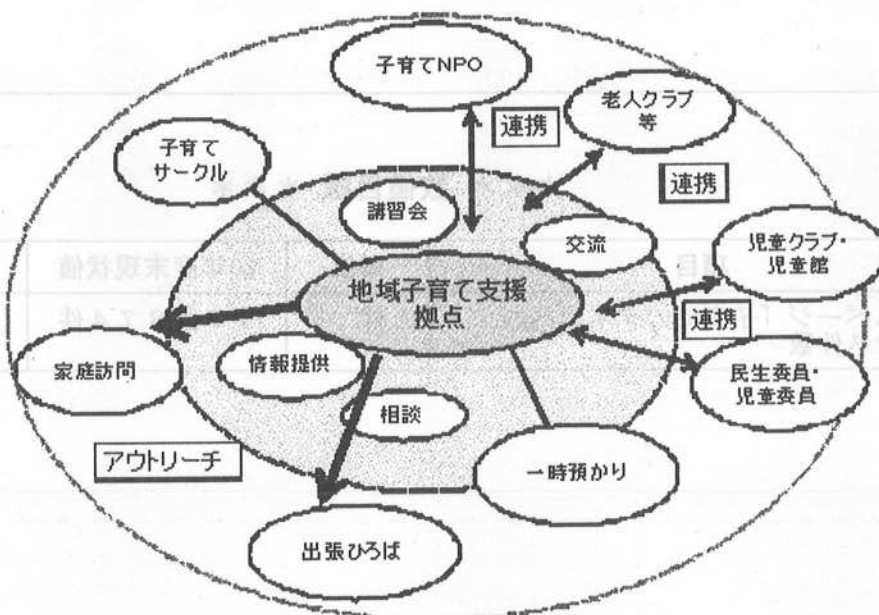
- ☆ 地域の子育て支援拠点（子育てひろばなど）に行けば、子育てをサポートしてくれる地域のいろいろな人・場所・サービスを知ることができます。
- ☆ 地域のいろいろな人たちがつながり、みんなが応援をしてくれているということがわかります。
- ☆ 支援サービスを受けるだけではなく、地域の活動に参加する楽しさ・喜びも得られます。

◆トピック

「地域子育て支援拠点」って、どんなところ？

お母さんたちがおしゃべりを楽しんだり、話を聴いたり、お友達を見つけたり、子ども同士の関わりあいを見守りながら、ホッとできる場所です。

〈イメージ〉



◆みなさんの声

子育て支援は、親支援です。保育所を利用していたり、自分からひろばなどに来ているお母さんや子どもには、いくらでも支援のチャンスはあるのですが、人付き合いが苦手なお母さんなど、地域子育て支援拠点に「来て欲しい」けれど、「知らない、関心がない」、「出ていけない」という人たちをどうやってサポートするかが課題です。特に幼児期にどうするかということが大切だと思っています。

「こんにちは赤ちゃん事業」（4ヶ月までの赤ちゃんのいる家庭全戸訪問）がありますが、その後は、1歳半健診、3歳健診、そして就学前の健診しかなく、もし、それを受けなかったら、その親子は、就学まで、誰の目にもかからないということもあり得るのです。

出かけて行って支援する「アウトリーチ」が、これから必要とされる支援の方法ではないかと考えています。

（おおいた子ども・子育て応援県民会議委員）

○具体的な取組

(1) 地域子育て支援拠点を中心とした地域のネットワークづくり

- ① 地域ぐるみの子育てを推進するため、「地域子育て支援拠点（子ども広場など）」を中心に、専門機関や様々な子育て支援サービスとの連携を図るとともに、子育てサークルなどのグループへの支援やコーディネートを行い、ネットワークづくりを進めます。
- ② 子育て支援の充実を図るため、地域子育て支援拠点間の連携を深め、外に出向いて必要な支援を行うアウトリーチの普及や、スタッフの専門性の確保など支援の質を高めます。

(2) NPOやボランティア、関係団体等との連携・協働

- ① 民間の子育てに関する知識やノウハウを活用し、地域の実情に応じた自発的な子育て支援活動を推進するため、「大分県におけるNPOとの協働指針」に基づき、子育て支援に関するNPOやボランティアとの協働事業を推進します。
- ② 個々の特性を生かした活動を行う子育て支援NPO間の連携を強化し、それぞれの活動のレベルアップを図ります。
- ③ 子育て親子の見守りや交流の場づくりを推進するため、社会福祉協議会や民生委員・児童委員などが中心となり、ボランティアをはじめ、社会福祉施設や自治会、老人クラブ等のネットワークづくりを支援します。
- ④ 地域で活動するNPO等と企業との協働を支援し、企業の主体的な子育て支援の取組を促進します。

家庭訪問型子育て支援「ホームスタート」の取組

豊後大野市のみえまち子育て支援センター「やしの実ひろば」では、イギリス式の家庭訪問型子育て支援「ホームスタート」を行っています。

1～2ヶ月の期間、週1回2時間程度、ボランティアが家庭を訪問し、一緒に親子で遊んだり、買い物に行ったり、家事を行ったりします。「子育てを楽しくしたい」、「子育てについて一緒に考えて欲しい」そんなお母さんたちの子育てのお手伝いを無料で行っています。

孤立したお母さんへの指導や援助ではなく、対等で親しい関係性づくり、フレンドシップを理念とする取組です。ピアサポートの講習を受けた無償ボランティア（ビジター）が、家庭訪問をし、必要に応じて専門家につながります。

はじめは訪問を受ける立場であったお母さんが、今は講習を受けてビジターとして活動している例もあります。

第6節 地域ぐるみの交流活動の推進

◆ポイント

- ☆ 子どもたちが、地域で自由に安心して過ごせる場所があります。
- ☆ 子どもたちが、異年齢の子ども同士、また、地域の人たちや高齢者などとの交流を通じて、たくさんの体験や発見をすることができます。
- ☆ こどもたちが、仲間づくりの楽しさ、友だちの大切さを実感できます。
- ☆ 地域の人たちが関心をもってくれ、認めてくれることで、子どもたちに自分も他の人も大切に
する気持ちが生まれます。

◆トピック

いつでも、どこでも子どもがまん中
～佐伯市 つるおか子どもの家の取組～



「ただいまー！」という子度たちの声に、「おかえりー！」と地域のおばちゃんが答えます。ここには、「先生」と呼ばれる大人はいません。子どもたちにとっては、大人は肩書きではなく誰もが、地域の「おばちゃん」「おじちゃん」「お姉ちゃん」「お兄ちゃん」。

佐伯市の「つるおか子どもの家」では、放課後児童クラブの活動を中心に、乳幼児のいる若い親との交流を目的とした「トトロの広場」の開催のほか、老人クラブとの交流や手話・展示学習会等、地域のさまざま

な人々をまきこんだ、地域ぐるみでの子どもと子育て家庭の支援を行っています。

ここでは、多くのボランティアがその活動を支えています。夏休みのキャンプでは、中高生や、大学生のボランティアなくしては実現できません。また、地域の人が「子どもの家」を気にかけて毎月、誰かからの差し入れが開設以来続いています。

「子どもたちが地域の絆を紡いでくれる」という考えの下、楽しく住みやすい地域づくりの拠点ともなっています。

◆みなさんの声

ある団地の話です。4時半ちょっと過ぎになりますと、団地内の放送があります。「ただいまから、皆さんにお願いとお知らせをいたします。

子どもの下校時間になりました。どうかお家に居る方は、この時間にあわせて散歩、犬の散歩か又はお買い物にお出かけください。」という放送が毎日流れるんです。すると、本当にお家に居る方が犬を連れて散歩に行ったり、お買い物に行ったりします。

これは、地域が子どもを育ててるといふ日常があるのだということだと思います。

(平成19. 20年度おおいた子ども・子育て応援県民会議委員 竹上紀代子さん)

○具体的な取組

(1) 子どもの居場所づくり

- ① 地域において、子どもが自主的に参加し、自由に遊べる児童館などの子どもの健全な居場所づくりを促進します。
- ② 地域の人たちの協力を得て体験・交流・学習活動を提供する「放課後子ども教室」と、「放課後児童クラブ」を連携して実施する「放課後子どもプラン」を推進し、放課後や長期休暇等に、子どもの安全な居場所づくりを進めます。
- ③ 社会福祉協議会や民生委員児童委員協議会が行う「子育てサロン」や、NPOやボランティアなどによる、地域における対話と交流の場づくりを支援します。

(2) 地域ぐるみの交流活動の推進

- ① 児童館が、子育て家庭が気軽に利用できる自由な交流の場として、絵本の読み聞かせ等親子のふれあいの機会を提供するとともに、中学生や高校生の活動拠点として、その積極的な受入れと活動の展開を図ります。
- ② 豊かな経験と知恵や技術をもつ高齢者との交流を図り、児童館や放課後児童クラブ、放課後子ども教室等の活動において地域の文化伝承や自然体験を促進します。
- ③ 子どもが自分の気持ちを大切にしながら率直に表現する力を引き出す「気持ちのワークショップ」を、NPO等の協力を得て実施します。
- ④ なかまあそびアドバイザーを学校や公民館、地域の子ども会等に派遣し、集団活動や体験活動を促進します。
- ⑤ 大人が子どもの手本となるように、「大人が変われば子どもも変わる」県民運動を推進し、大人から子どもへの積極的な声かけを県民総参加で行う「県民総ぐるみあいさつ運動」や、家庭における親子のふれあいを深める取組として「親子川柳」の募集などを行います。

親子川柳を募集します！

「大人が変われば子どもも変わる」県民運動をさらに県民に普及するために「親子川柳」と題し「子の句」と、それに返事をする「親の句（返句）」を一組とする川柳を募集します。

県下の小・中・高校に在学する児童生徒とその保護者などを対象に、親や大人とのふれあい、気をつけてもらいたいこと、気づいて欲しいことなど、子どもたちを取り巻く全てのことを対象に、日常使っている言葉で表現することで、自分の気持ちを伝えたり、お互いの気持ちを理解したり、親子のふれあいを深める目的で実施します。

子育て支援サービス市町村実施状況一覧(平成21年度)

		大分市	別府市	中津市	日田市	佐伯市	臼杵市	津久見市	竹田市	豊後高田市	杵築市	宇佐市	豊後大野市	由布市	国東市	姫島村	日出町	九重町	玖珠町	全県	
地域子育て支援拠点事業	(か所)																				
1箇所当たりの6歳未満児数	(人)																				
認可保育所における一時預かり	(か所)																				
1箇所当たりの6歳未満児数	(人)																				
ファミリーサポートセンター事業	実施の有無																				
放課後児童クラブ	(か所)																				
就学児童100人当たりの箇所数	(か所)																				
放課後児童クラブ設置校区数	(か所)																				
校区カバー率	(%)																				
認可保育所	(か所)																				
6歳未満児100人当たりの箇所数	(か所)																				
休日保育実施保育所数	(か所)																				
認可保育所における実施率	(%)																				
3歳未満児保育料の額(第4階層)	(千円)																				
にこにこ保育(認可保育所) ◎第2子実施、○第3子実施																					
にこにこ保育(認可外保育施設) ◎第2子実施、○第3子実施																					
病児・病後児保育事業	実施の有無																				
乳児家庭全戸訪問事業	実施の有無																				
養育支援家庭訪問事業	実施の有無																				

H21実施予定か所数(但し放課後児童クラブについてはH21. 5. 1 WISH調査による)
6歳未満の児童(H2010.1毎月流動人口調査)